

① 学習指導案

プログラム	No. 08 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全17時間)	残そう、「上狛百景」
学習のねらい	上狛のよいところを見つけ、友だちや地域の人たちに紹介しよう。
学習内容	1 上狛のまちの好きな場所、残したい風景について話し合う。 2 校内外を探検し、思わず心が動いた場面を撮影する。 3 パネル発表を通して、上狛のよさを伝える。 4 自他の発表から、上狛のよさを再発見し、それを伝える活動を通して、自分たちの住むまちのいいところを受け継いでいきたいという思いをもつ。
参考資料	名利、古刹の百景写真
準備品	タブレット、電子黒板、額縁、額縁ホルダー
実施場所等	上狛地域内、教室、パソコン教室

学習の流れ



時間	学習活動	教師の指導	評価
1	(第1次) ・学習のめあてを持つ。	・活動のイメージを持たせる。	・つくりたいもののイメージができたか。
4	(第2次) ・地域巡りをする。 ・上狛のまちのよいところを探す。	・安全についての指導。 ・地域人材を活用し、校区にある文化財や施設について説明してもらう。	・上狛のまちのよいところを見つけることができたか。 ・自分のおすすめしたい場所を見つけられたか。
5	(第3次) ・おすすめのことを写真に撮る。	・タブレットの操作について。 ・安全についての指導。 ・肖像権についての指導。	・見る人に伝わるように、写真の撮り方や構図等を工夫することができたか。
7	(第4次) ・パネルを作成する。 ・紹介文をつくる。 ・PCを使って、紹介文を作成する。	・伝わりやすい文の書き方。 ・推敲の仕方。 ・ローマ字入力の指導。 ・写真の取り込み。	・相手に伝わるような表現ができたか。 ・上狛のまちのよさに気付くことができたか。

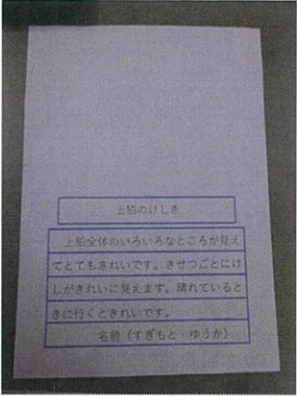


<留意点>

- ・校外で活動する際には安全に十分注意させる。
- ・児童が決めた場所と地域の中で必ず取り上げさせたい場所とが違う場合は、教師から提示するようにする。
- ・肖像権やプライバシーの侵害等について、発達段階にあった指導を行う。

② 事業実施報告書詳細

学校名 木津川市立上狛小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
(導入) 1	教室	めあてをつかむ。		やってみたいという意欲を持った。
4	校外	よいところを見つけるために地域を歩く。 (取材)	地域巡り 	自分の知っているよいところをみんなに話したりしながら意欲的に活動した。 新しい発見もあったようだ。
5	教室	1学期からの町探検を振り返り、上狛のよいところ、残したいところを話し合い、選び出して、分担する。 おすすめの場所、紹介したいところを写真に撮る。	写真撮影 	よさがうまく伝わるように場所を選ぶ。 パネルを作って、見て楽しんでもらいたいという目標があるので、みんな一生懸命考えながら選んでいた。
2	教室	撮った写真の中から、自分が紹介したい写真を選び、紹介文を考える。		紹介したいことを短い文章で書くことに苦労していたが、子どもらしい感じ方の文章ができた。

2	教室	作った紹介文をコンピュータ入力するためにローマ字入力の準備をする。		国語科で習ったローマ字で文章を書くことができた。
2	教室	紹介文をコンピュータ入力する。	<p>紹介文入力</p> 	コンピュータを使って文章を打つことが楽しく、練習を重ねて速く打てるようになった。
1	教室	写真と紹介文をパネルにセットする。	<p>パネル作成</p>  	きれいな写真付きパネルに仕上がって子どもたちは大喜びであった。「上狼にはいいところがいっぱいある。」と地域に誇りをもった子もいた。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・活動のイメージをもたせるために、古刹や名刹百景を見せたり、昨年度の作品を鑑賞したりした。・「上粕のいいところを探そう」と話題を提供したりして、意識化を図った。・学習に入るまでの期間に上粕のよいところ、残したいところを家族にインタビューさせ、地域の思いにふれる機会をもたせた。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・3年生児童が知っている身近な「町のすてき」が限られた場所であったため、似たような景観を選んだ児童が数名いた。・校外での活動の際に安全確保するための指導者の確保。・ローマ字の習得が難しい児童への配慮。(PC入力にあたって)
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・できあがりのパネルを見て、皆満足していた。・「上粕にはすてきなところがたくさんある」と、自分の住む町に誇りを持つ児童が多く見られた。・地域住民や保護者の方々、学校を訪れるお客様からの評判もよく、子どもたちはうれしそうだった。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・校区の自然や歴史、文化財など、上粕のもつ豊かな地域教材に目を向けるよい機会となった。・担任が初任者であり、地域のことをあまり知らない状態であったが、取材を通して地域のことを知り、地域の方が地域についてどのような思いをもっているのかについても直接知ることができた。・1人1台のタブレット端末を使用したので、撮影ができあがりのパネルのイメージに近く初めて扱う子どもでもクオリティの高い写真が撮れた。・担任だけでなく、できあがりを見た他の教職員も、地域教材をさらに発掘したいという意欲をもつきっかけとなった。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">・児童の紹介したい場所が重ならないよう、グループごとに活動エリアを決めておくなどの配慮をすることで、より多くの景観を紹介することができる。・指導者自身が地域を知り、そのよさを十分に知る必要がある。校内研修に地域のフィールドワークを取り入れ、さらに多くの地域教材を発掘したい。